専門教育科目 講義科目

| 授業科目名 | 経営の行動指針（土光敏夫語録に学ぶ） | 科目コード | 配当年次 | 単位 |
|---|---|---|---|---|
| 担当教員 | 内藤 英俊・曽我 知子・榊原 康成・堀内 勝夫 | EH96 | 3・4 | 2 |

**科目の概要**

土光敏夫氏は、旧石川島播磨重工業（現ＩＨＩ）、旧東京芝浦電気（現東芝）の社長を経て1974年に経団連の会長に就任。石油ショック後の日本経済の安定化に尽力し、1981年には政府の第二次臨時行政調査会長として行政改革を進めた実業家である。高潔・実直な人柄や有言実行の行動力、無欲で質素な生活などで一般にも広く親しまれ、1988年の没後も各界のリーダーに大きな影響を与えている。
この科目では、土光氏の名言から、その経営哲学を理解し、マネジメントの真髄をつかんでいくとともに、現在でも変わらないリーダーとしての行動指針を学習していく。

**科目の到達目標**

①土光氏の経営思想を理解することで、マネジメントの要諦を具体的につかむことができる。
②名経営者の金言の意味するところを理解し、自職場や日常生活における行動の改善につなげることができる。

| テキスト | 『新訂・経営の行動指針』土光 敏夫,産業能率大学出版部,2009年 |
|---|---|

**テキストの読み方**

①テキストは土光氏の旧東京芝浦電気時代の発言をまとめたものではあるが、その内容は時代を超越し、現在の混迷する時代に最適の指針となっている。
②テキストに書かれていることを理解するのはもちろん、それを日常の仕事や生活に置き換えて解釈し、自分自身の反省を踏まえ、今後の自分の行動変革を考えながら読むことが大切である。

**単位修得の方法**

リポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、２単位を修得できる。